

平成26年度第1回経営協議会 議事要旨

日時 平成26年5月26日（月）14時00分～15時24分
場所 事務棟第二会議室
出席者 和田学長，大矢理事，鈴木理事，片桐委員，
齊田委員，齊藤委員，舟本委員
欠席者 近藤副学長，榊原委員，中松委員
陪席者 海老名理事，石橋監事

議事に先立ち，第1回経営協議会開催にあたり，和田学長より各委員及び陪席者等の紹介が行われた。続いて，前回（3月17日）開催の平成25年度第7回経営協議会の議事要旨の確認が行われた。

審議事項

1. 文部科学省への概算要求について

和田学長から，審議資料1に基づき，文部科学省への概算要求について諮られ，審議の結果，原案どおり承認された。

2. 国立大学法人小樽商科大学学長選考会議委員の選出について

和田学長から，審議資料2に基づき，国立大学法人小樽商科大学学長選考会議委員の選出について諮られ，審議の結果，齋田 義孝 委員，齊藤 慎二 委員及び舟本 秀男 委員が選出された。

報告事項

1. ミッションの再定義及び文部科学省との意見交換について

和田学長から，報告資料1に基づき，ミッションの再定義及び文部科学省との意見交換について報告があった。

続いて，以下のとおり意見交換が行われた。

○グローバルな企業競争によって社会科学の分野が立ち後れている今般の状況を鑑みると，本学の存在意義は大変大きいものである。

○語学教育の充実について，有為な人材輩出等の目的が達成されているか今一度考察し，今後のカリキュラム編成において考慮する必要がある。

2. 平成26年度入学者数について

和田学長から，報告資料2に基づき，平成26年度入学者数について報告があった。

続いて，以下のとおり意見交換が行われた。

○全体的な志願者の減少について危惧している。北海道内の18歳以下の人口が減少している中，

道外からの受験生を獲得する工夫が必要である。

○本学は入学辞退率が低いことが特徴的である。受験生獲得のために策を尽くしている私立大学と競争していくためにも、このような客観的データによる本学の強み・特徴・特色は積極的にアピールすべきである。

3. 飲酒事故に係る和解について

和田学長から、飲酒事故にかかる和解について報告があった。

4. 誓いの碑の建立及び追悼式の実施について

和田学長から、誓いの碑の建立及び追悼式の実施について報告があった。

5. 最近のトピックスについて

和田学長から、報告資料5に基づき、本学の最近の動向について報告があった。

6. その他

和田学長から、次回の経営協議会については、6月23日(月)14時から開催する予定である旨、発言があった。なお、緊急の案件が生じた場合には、急遽、会議を招集させていただくことも想定されるので、その場合には、会議の開催日程を調整させていただきたい旨、併せて発言があった。

以 上